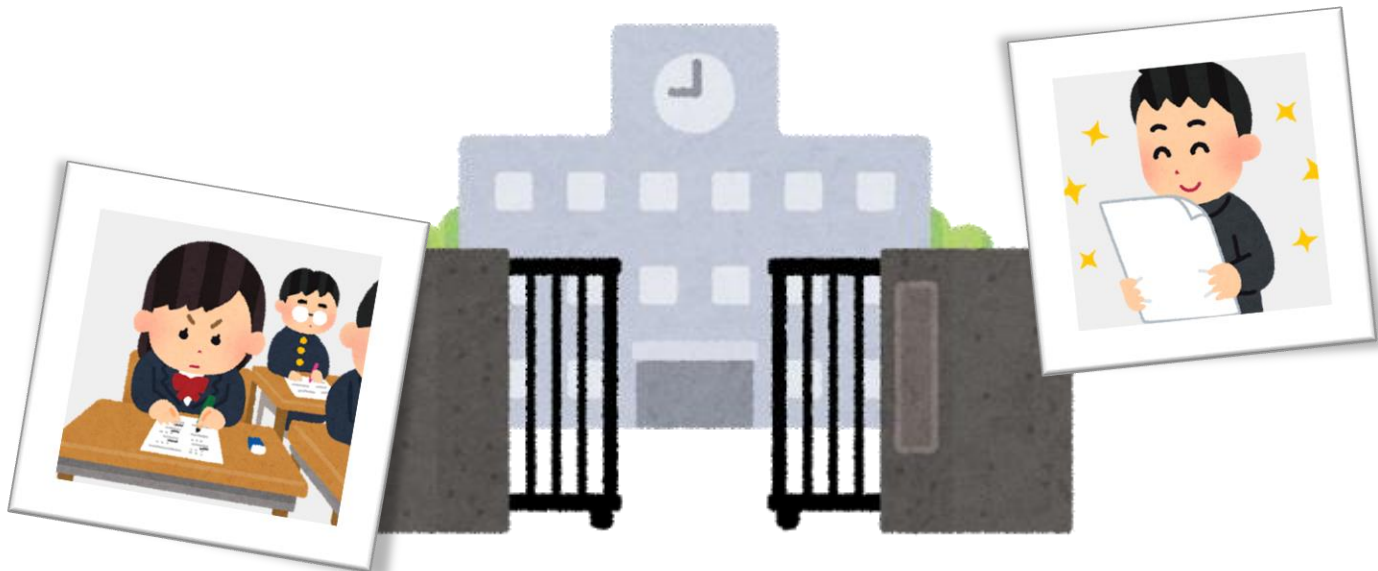


令和5年度に高校等（※）へ入学予定の方向け

富山県奨学生（予約採用）募集要項

※「高校等」とは、高等学校・特別支援学校高等部・中等教育学校後期課程・専修学校高等課程です。



高校等入学前に奨学金の予約ができます

- 富山県では、経済的理由により進学が困難な生徒・学生に対し、奨学金を無利子で貸与することにより、修学を支援しています。
- 高校等の奨学金については、安心して進学できるよう、入学前に奨学金の予約をする制度（予約採用）を設けています。予約採用者は高校等へ入学後に優先して貸与を受けることができます。

予約採用の申請を希望する方は、この募集要項をよく読み、申請書を作成の上、締切までに在學校に提出してください。



◎在學校への提出締切
令和4年10月7日（金）
（在學校が別の期限を定めた場合、その日まで）

令和4年9月
富山県教育委員会

1	富山県奨学資金の概要	1
2	予約採用を申し込みできる方	2
3	申請手続について	2
4	よくあるご質問	3
5	お問い合わせ先	3
	貸与予約申請書作成について	4
	奨学資金予約貸与申請書（記入例）	5～6
	奨学資金予約貸与申請書	7～8
	令和5年度予約採用の流れ（予定）	9

○富山県奨学資金の貸与、返還その他については、富山県奨学資金貸与条例、同施行規則の規定に従って行います。

1 富山県奨学資金（高校等）の概要

(1) 募集人数及び貸与月額

学校種別	募集人数	学校区分	通学区分	貸与月額
・高等学校 ・特別支援学校高等部 ・中等教育学校後期課程 ・専修学校高等課程 (修業年限2年以上)	100名程度	国公立	自宅	18,000円
			自宅外	23,000円
		私立	自宅	30,000円
			自宅外	35,000円

* 上記のデータは令和4年度のものです。

* 貸与月額は学校区分と通学区分によって、自動的に決まります。

* 高等専門学校に進学した場合、予約採用の対象とはなりません、入学後に奨学金を申請可能です。

(2) 貸与期間・貸与方法

- ・高校等への入学時に申請した場合、入学から卒業までの期間に貸与を行います。
(例：県立高校・自宅通学の場合、3年間で合計648,000円の貸与となります。)
- ・奨学金は毎月、本人名義の口座へ振り込みます。

(3) 他の奨学金との併用

富山県奨学資金と同時に利用できないものがあるので、注意してください。(下記参照)
なお、同時に利用できなくても、同時に申し、決定後に1つだけ選択することは可能です。

×同時に利用できないもの

- ・母子父子寡婦福祉資金
- ・他団体が実施する貸与型奨学金
- ・富山県高等学校定時制及び
通信課程修学奨励金
- ・特別支援教育就学奨励費

◎同時に利用できるもの

- ・授業料減免・就学支援金
 - ・学資ローン
 - ・給付型の奨学金(返還を要しないもの)
- ※ただし、実施団体によっては併用が認められない場合があるのでご注意ください。

(4) 返還について

富山県奨学資金は、借りたお金を全額返還する必要があります。(免除とはなりません。)

①返還方法・・・貸与終了時(卒業または辞退時)に、借用証書を作成して計画を立てます。

返還期間	貸与終了から6か月の据置期間を置いた後、 <u>10年以内</u>
返還方法	年賦または半年賦(年1回または2回払い。月賦はありません。)
利息	<u>利息はありません。</u> ただし、納入期限に遅れた場合、年7.3%の延滞利息が加算されます。

②返還の猶予・・・次の場合、申請により返還の猶予を受けられます。(免除ではありません。)

- ・貸与終了後も学校に在学しているとき。(例：大学に進学した場合など)
- ・災害、病気、負傷その他やむを得ない事由があると認められたとき。

(3) 高校等に入学後の手続

- ・令和5年4月に各高校等へ在学募集案内を送付します。(県ホームページにも掲載予定)貸与を希望する場合は、募集要項を入手の上、申請書類を学校へ提出してください。これらの書類を審査した上で、正式に貸与決定を行います。
- ・在学募集の審査結果については、令和5年7月ごろにお知らせします。正式に採用された方については、誓約書のほか保証人2名の印鑑登録証明書を提出いただいたうえで、奨学金の貸与を開始します。

<注意！>

- ・予約採用はあくまで「貸与の予約」です。高校等へ入学後、在学募集に申請しないと、貸与は受けられません。(例年、在学募集への申請し忘れが発生しています。)進学先の学校では、誰が予約採用者か把握していないので、貸与を希望する場合は、必ず自分から問い合わせで募集要項を入手の上、申請してください。
- ・在学募集の申請時には、保証人が必ず2名必要となります。

独立の生計を営む方であって、保護者等1名、申請者と生計を別にする方1名。返済が長期にわたるため、申請時において60歳程度未満の方が望ましいです。なお、未成年、成年被後見人及び被保佐人は保証人として認められません。保証人として適するか不明な場合は、県立学校課までお問合せください。

4 よくあるご質問

- Q. 県外の高校に進学予定だが、この奨学金の対象となるのか？
- A. 保護者が富山県内に居住していれば、県外の学校に進学する場合でも申請可能です。
- Q. 源泉徴収票や所得証明書は、添付しなくてよいのか？
- A. 予約採用の時点では、証明書類は添付不要です。高校等に進学し、在学募集に申し込む場合、各種証明書類を提出いただくことになります。
- Q. 予約採用を受けていると、高校等へ入学後に在学採用を申し込む際、貸与金額が上乘せされたり、審査基準が緩和されたり、といった有利なことがあるのか？
- A. 貸与金額や審査基準は、予約採用の有無に関わらず同一です。ただし、在学採用時に申請者数が募集枠を上回った場合、予約採用者が優先されます。

<予約採用に関するお問合せ先>

ご不明な点は、在学学校または富山県教育委員会県立学校課までお問合せください。

◎富山県教育委員会県立学校課 学事係

TEL 076-444-3448 (係への直通電話です)

「富山県奨学金の予約採用について聞きたい。」とお問合せください。

貸与予約申請書作成について

※申請書は両面印刷のものを使用すること。

① 保護者等

…親権者、後見人その他これらに準ずる方。通常は主たる生計維持者。

② 生計を一にする家族及びその収入状況

…同居・別居を問わず、本人と生計が同じである全員について記入してください。
(単身赴任や就学のため別居していても、生計が同一なら記入してください。)

a) 就学者を除く家族

…世帯の中で、就学者でない方について記載ください。(未就学児もこちらに記載します。)

- ・「所得の種類」…給与・事業所得・年金等を記入。(無収入の場合、「なし」。)
- ・「年間収入見込金額(税込み)」…源泉徴収票や給料明細を参考に、今後1年の見込額を記入。
(転職や大幅な収入の増減がない限りは、今年1月に発行された源泉徴収票の額を記入ください。)

ア 給与所得 (サラリーマン、パート・アルバイト等)	総収入金額(各種控除前の金額)を記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月以前から同じ職場に勤めている ⇒ 源泉徴収票の「支払金額」欄から転記 ・令和3年1月以降に転職した・給料が変動した ⇒ 直近の給料明細の額を1.2倍する
イ 事業所得 (自営・農業等)	総収入金額ー必要経費を記入してください。(＝確定申告書の「所得金額」) ※必要経費とは次のようなものをいいます。 ①商業、工業、林業又は水産業の場合…売上原価、通信・運搬費、雇入費、減価償却費等 ②農業の場合…肥料、種苗、飼料又は動力機の燃料の購入費等
ウ その他収入 (年金等)	年間の収入見込額を記入してください。 ※その他の収入とは、年金、恩給、家賃、地代または内職等をいいます。

b) 就学者

…本人及び兄弟姉妹で学校に通っている者について記載ください。

- ・国公立・私立…いずれかを囲んでください。
- ・通学別…自宅通学・自宅外通学のいずれかを囲んでください。
- ・学校種別…下表のとおりです。予備校や大学校等、表にないものは、欄外に学校名を記入ください。

小	小学校または特別支援学校の小学部		
中	中学校、中等教育学校の前期課程または特別支援学校の中等部		
高	高等学校、中等教育学校の後期課程または特別支援学校の高等部		
高専①	高等専門学校(1~3年)	高専②	高等専門学校(4,5年、専攻科)
専高	専修学校(高等課程)	専専	専修学校(専門課程)
大学	大学(短期大学及び大学院を含む)		

③ 家計支持者・別居者について

…主たる家計維持者には(主)、別居中の者には(別)を氏名の右端に記載してください。

④ 家庭区分

…母(父)子家庭、障害者家庭、一般家庭のいずれかを囲んでください。

上記と記入例を参考に作成後、6ページのチェックリストで内容を確認してから
在学部に提出してください。

奨学資金貸与予約申請書

ふりがな 氏名	たてやま てるひこ 立山 輝彦		平成 19 年 9 月 1 日生			
住所	郵便番号 930-0001 富山県富山市新総曲輪1-2-3-101 電話番号 076-444-3448					
在学 学校	富山市 立 富山 中学校		令和 5 年 3 月 卒業見込			
	所在地 富山県富山市新桜町7-38					
① 保 護 者 等	氏名	立山 新一		昭和 47 年 1 月 1 日生	続柄 父	
	住所	郵便番号 930-0001 富山県 職業・勤務先の記載漏れに注意 電話番号 076-444-3448				
	職業及び勤務先	会社員 (株)はくたか		年間収入見込金額 (税込み) 4,362,000 円		
② 就 学 者 を 除 く 家 族 の 生 計 を 一 に す る 家 族 及 び そ の 収 入 状 況	①	氏名	主たる生計維持者に㊦		所得の種類	年間収入見込金額 (税込み)
		立山 新一 ㊦	50	父	事業所得(自営)	4,362,000 円
		立山 幹子	48	母	給与(パート)	2,120,000 円
		立山 イト	71	祖母	年金	1,500,000 円
		立山 いづみ	5	妹	なし	0 円
					本人から見た続柄	円
② 就 学 者	①	氏名	年齢	続柄	在学 学校	通学 別
		立山 輝彦	15	本人	※国公・私立 中学校	※自宅・自宅外
		立山 鷹哉 別	19	兄	※国公・私立 ※小・中・高・高専①・ 高専②・専高・専専・ 大学	※自宅・自宅外
		別居者には別		国公・私立の どちらか囲む	※高専 該当するものを囲む	自宅・自宅外の どちらか囲む
			※国公・私立	※小・中・高・高専①・ 高専②・専高・専専・大学	※自宅・自宅外	
③	主たる家計支持者には㊦を、家族と別居中の者（病気療養等のため一時別居中の者は除く）には 別を右端に記入すること。					
④	家庭区分	※母（父）子家庭（続柄 母 ）・障害者家庭（続柄 祖母 ）・一般家庭				

(例) 母子家庭の場合、以下のようになります。

※母(父)子家庭(続柄 母)

家庭区分をいずれか選択

申請書表面

高校・専修学校のどちらか囲む

進学希望先

※ **高等学校** ・ 専修学校（高等課程）

申請理由（家庭事情その他特記すべき

誤って記入した場合、二重線を引いた上に訂正印を押す

3
昨今の不景気の影響により、令和4年~~9~~から自営業の父の収入が大きく減少しました。パートとして働いている母との収入を含めて家計を維持している状態です。また、兄が県外の私立大学に通っているため、下宿費用もかかります。
将来、教師になることを目標として学問に取り組んでいますが、経済的理由により目標を達成できない不安があります。
安心して学問に取り組み、目標を達成できるようにするため、奨学資金の貸与を希望します。

高等学校等に入学した後、富山県奨学資金の貸与を受けたいので

奨学金は本人が貸与を受けるものです。保護者ではなく、申請者本人(生徒)の立場で記入してください。

令和4年9月30日

申請書を作成した日付を記載

富山県知事 殿

本人氏名 立山 輝彦

保護者等氏名 立山 新一

備考

- 1 ※は、該当のものを○で囲むこと。
- 2 保護者等欄への記載は原則として主たる家計支持者とすること。
- 3 年間収入見込金額は、申請を行う日の属する年のものを記入すること。
- 4 年齢については、申請日時点での年齢を記入すること。

学校へ提出する前にチェックしましょう

(誤りがある場合、書類を返却して訂正いただきます。)

- 記載漏れがないか。(住所・職業、年齢等が抜けていることが多いです。)
- 誤って記入した箇所には、二重線を引き訂正印を押してあるか。(修正液等は不可)
- 主たる生計維持者に、「㊦」を記載したか。
- 単身赴任や就学のため別居中の者に、「㊦」を記載したか。
- 在学校の区分(国公・私立)を選択したか。
- 通学別の区分(自宅・自宅外)を選択したか。
- 申請書は両面印刷になっているか。

訂正印の例 10月
令和4年~~9~~月

(片面印刷になった場合、学校の先生に「割印してください」と伝えてください。)

奨学資金貸与予約申請書

ふりがな			平成 年 月 日生				
住所	郵便番号		電話番号				
在 学 校	立 中学校 年 月 卒業見込						
	所在地						
保 護 者 等	氏名			年 月 日生	続柄		
	住所	郵便番号		電話番号			
	職業及び勤務先		年間収入見込金額 (税込み) 円				
生計を一にする家族及びその収入状況	就学者を除く家族	氏 名	年齢	続柄	所得の種類	年間収入見込金額 (税込み)	
						円	
						円	
						円	
						円	
						円	
	就学者	氏 名	年齢	続柄	在 学 校		通 学 別
				本人	※国公・私立	中学校	※自宅・自宅外
					※国公・私立	※小・中・高・高専①・高専②・専高・専専・大学	※自宅・自宅外
					※国公・私立	※小・中・高・高専①・高専②・専高・専専・大学	※自宅・自宅外
			※国公・私立	※小・中・高・高専①・高専②・専高・専専・大学	※自宅・自宅外		
主たる家計支持者には㊦を、家族と別居中の者（病気療養等のため一時別居中の者は除く）には㊧を右端に記入すること。							
家庭区分	※母（父）子家庭（続柄 ）・障害者家庭（続柄 ）・一般家庭						

進学希望先	※ 高等学校 ・ 専修学校（高等課程）
申請理由（家庭事情その他特記すべきことを具体的に記入すること。）	
<p>高等学校等に入学した後、富山県奨学資金の貸与を受けたいので、関係書類を添えて申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>富山県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">本人 氏名</p> <p style="text-align: right;">保護者等 氏名</p>	

備考

- 1 ※は、該当のものを○で囲むこと。
- 2 保護者等欄への記載は原則として主たる家計支持者とすること。
- 3 年間収入見込金額は、申請を行う日の属する年のものを記入すること。
- 4 年齢については、申請日時点での年齢を記入すること。

令和5年度富山県奨学金予約採用の流れ（予定）

